

月刊 おかじょうき

おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

D511
No. 511

川柳ステーション 2025

2025

8

川柳ステーション 2025	18
無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■ 十和田たてがみ川柳会 6月句会報	37
Infomation	40～

月刊おかじょうきを

ど～～しても紙で見たい！

というあなたへ

2月号から紙の柳誌発行を止め、電子柳誌だけの発行に移行しましたが、皆さんには「絶対、電子だけで見てください！」と言っているわけではありません。経済的に余裕のある方は（といっても月数百円くらいですが笑）、製本された形ではないですが、紙に印刷して読む方法もありますので、以下の方法の中から、ご自身の周辺の環境に合った方法でお試してください。

【方法①】PCとプリンターで印刷する

お家にパソコンとプリンターがあれば、電子柳誌をお好きな大きさの用紙に印刷すればOKです。

【方法②】スマホとセブンイレブンで印刷する

右のアプリを使って、お近くのセブンイレブンのコピー機でスマホで印刷することができます。



【方法③】スマホと近くのコンビニで印刷する

右のアプリを使って、お近くのコンビニ（ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、ポプラ）のコピー機から印刷することができます。



【コンビニでのプリント参考価格】

A3モノクロ1ページ：約20円 / A3カラー1ページ：約100円
見たいページだけ印刷して節約するのもアリですね！

カンテラ

まきこ

川柳ステーション2025にご参加いただきました皆様、ご協力をいただきまことにありがとうございます。

「おかポキ」を期待している方もいると思いますが、今のところどうなるか謎です（笑）よろしくお願います。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

A群

源流を探すアナタと会うために 瀧尻善英
女だから男だからと罪ばかり 一帆
Y字路でうふふはどっち飛ぶ綿毛 辻井洋子

タンポポも友に数えて淋しくはない 金瀬達雄
本物の風に逢いたい連れてって まみどり
心地よい汗が出るまで食う笑い まきこ
平和という引出し探す路の穴 坂本清乃
ニタニタと胃もたれしそうな風の海 守田啓子
くすぐってやると朝顔咲きだすの 柳本恵子
夜が明けたモーツアルトになる時間 葉 閑女
死にたくはないが死なねばならず者 嵯峨山登
なあ月よ おまえの海はコピーだな 笹田隆志
幸せの規定打席に足りません 芝岡かんえもん
手の内を見せそつでいてチョコキを出す 四ツ屋いずみ
そのようになってしまわぬように穴 米山明日歌
帰ろうか私の部屋が待っている 斎藤泰子

斎藤泰子さん、そうですね、待っている人がいないくても「私の部屋」だけは待っていてくれるんですね。そう思えば帰るのも少し楽しくなってくる。待っていてくれる人がいればもったいいけどね。

B群

裏切りが上手いとその後を誉められる 戒 踊兵
キャンディの棒を並べているヨハネ 岩根彰子
負けました踵が少し丸いので 須藤しんのすけ
齧らせてあげるわベデキュアのスイカ 峯島 妙
帽子掛けの夫の帽子が眠りつく 吉見恵子
不道徳なくちびるの咲きそな湿度 きささぎ彼句吾
虐待じゃないのか週末の雨は 三浦蒼鬼
再生紙の俺の鶴など飛ぶもんか 尾崎良仁
五年後をテトラポットは応えない 熊谷冬鼓

曲「ボーイフレンド」で、第51回NHK紅白歌合戦に出演する際、同曲の「テトラポット」という歌詞が、登録商標である「テトラポッド」に類似していると問題になった。
しかし、商標の「テトラポッド」と歌詞の「テトラポット」は別の言葉であるとの判断から、歌詞を変えずに歌唱した。』とありました（笑）ややこしいね。で、冬鼓さんが「テトラポット」と話をしていて、「五年後」の話題になったら急に相手が応えなくなった、ということなんです。『テトラポット』は「時の流れは早いんだ。五年後なんか知るもんかい」なんて思っているのかも…。

C群

カオスって布団カバーのことだった 亥の一
消去法でえらぶ踵の届け先 宮井いずみ
プレミアム商品券つき島流し 小野五郎
塩振ってイワシを焼いて男逝く 夏草ふぶき
どんぐりコロコロ2.3が6ですみません 鳴海賢治

熊谷冬鼓さん、この「テトラポット」って消波ブロックのことですよ。ネット検索したらウイキペディアに『歌手のaikoが、2000年に発売したシングル

亥のーさん、「カオス」を広辞苑で引いたら『カオス【Chaos ギリシア】(「最初にできた裂け目」の意から)①天地創造以前の世界の状態。混沌。転じて、大混乱。ケーオス。⇔コスモス。②「理」初期条件によって以後の運動が一意に定まる系においても、初期条件のわずかな差が長時間後に大きな違いを生じ、実際上結果が予測できない現象。流体の運動や生態系の変動などに見られる。』とありました。句の「カオス」は②かなとも思いましたが、やっぱり「混沌」、つまり物事の区別・なりゆきのはっきりしないことのようにですね。

「混沌」＝「布団カバー」。うん、分かります(汗)
宮井いずみさん、「踵」は「かかと」で、人間の足にあるあれですよ。で、いずみさんは何で誰かに「踵」を届ける必要があるのでしょうか。届ける「踵」は右かな？左かな？それとも両方かな？「踵」がなくなったいずみさんはどうするのかな？たくさんの？をありがとうございます。

小野五郎さん、「島流し」って、『しま・ながし【島流し】罪人を島または僻遠の地にうつした刑罰。流罪。

流刑。遠島。』(広辞苑第七版)ですよ。『プレミアム商品券つき島流し』って、どこの国の刑罰なんだろう。ネット検索しても出てこないから、今度五郎さんにあつたらこつそり聞こうかな。

夏草ふぶきさん、「塩振ってイワシを焼いて男逝く」のこの男って誰のこと？旦那さんじゃないよね。それは別として、言われてみれば、男ってこんなところがあるよな…。言い得て妙だな、この句。

鳴海賢治さん、この句は「どんぐりころころにさんがろくですみません」と読むですよ。『どんぐりころころ』は童謡で、「どんぐりころころ どんぶりこ おいけにはまって さあたいへん どじょうがでてきて こんにちは ぼっちゃん いっしょにあそびましょう」という、あれですよ。『にさんがろく』は掛け算の2×3のことで、答は6だから正解。どじょうがどんぐりと真面目な遊びしかしなかったので「すみません」となったのかな。ふしぎな句だなあ(汗汗)

おかげさまで加柳社会員雑誌集

無人駅

★無人駅7月月間賞

小枝まで芽吹いて嘘は春を待つ

米山明日歌

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

わが膝へ初夏の青さと縦結び
「いつか」とは今日のこの時片さくらんぼ
忌の家の柿の木青く雫する
私の何処へしまおう涙壺
帽子掛けの夫の帽子が眠りつく

先月号のお気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

5ミリぽつちの無気力らの襲来
チクタク音の呪文 眠れなくなあれ
何してた？古古古古米が新米の頃
手の内を見せそうでいてチョコキを出す
のほほんの日曜横切る祭囃子

先月号のお気に入り

発酵か破裂か選ばせてあげる まみどり
うーん、迷いますがここは発酵で！

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

水たまり 口約束に雨がふる
人肌になつてきたのは君の海
抱き合えばナイフの先の光る夜
いいことを数えぬ主義にした土曜
そのようになつてしまわぬように穴

先月号のお気に入り

もう少し光るとたぶん嫌われる
かなり光っていると思いますが。
齋藤泰子

安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

賛成は一票だった交差点
エプロンに代わりたくないワンピース
つぶやきを足して完成度を上げる
十年に一度咲く花長い首
深夜食堂だった真人間だった

先月号のお気に入り

会計で動悸が起ころるクリニック
クリニックで、ぼったくり。
舟木小柳

帆【いちほ・秋田県秋田市】

約束はさておきワイン口を割る
女だから男だからと罪ばかり
のっそりと夕焼けになる道もある
自然派のまままで朽ちてゆく太郎
渡り切る計算式の誤差範囲

先月号のお気に入り

亥の一【いのいち・青森県青森市】

カオスつて布団カバーのことだった
石落とし心の井戸の音を聞く
おちゃはしない挨拶だけで定年まで
戦争の伏流水の八〇年
地平線だ触りに行くぞロシナンテ

先月号のお気に入り

身八つ口何を消去してはるの 岩根彰子
和服を着て身八つ口を確保すれば私もはんなり京
女?????

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

うんもすんも言わない水無月の向こう
キャンデイの棒を並べているヨハネ
威風堂々枇杷に種あり投げすてる
仲裁になよなよしはる心太
冷や奴5回の脱皮に添うてやり

先月号のお気に入り

戎踊兵【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

泥上げの匂い津波の後の街
墓参り牡丹芍薬アヤメの葉
嫌われるスギナの色は好きな色
菖蒲咲く突き刺す言葉葉に溜めて
裏切りが上手いとその後を誉められる

先月号のお気に入り

筆順通りだったくちづけまでは きささぎ彼句
その後はアドリブだけで……

奥田悦生【おくだえつお・三重県伊勢市】

身につける見えないものを視る力
これからは聞こえないもの聴く力
泥舟と分かっけていても乗った日も
火の川を渡りあなたに逢った日も
三途の川も一緒に渡る女と居る

先月号の
お気に入り

水無月の陽射しへ飛ばすしゃぼん玉 葉閑女
シャボン玉飛ばす私の誕生日

尾崎良仁【おざきりょうじん・千葉県船橋市】

その通りですが領けないのです
乾かない人らしいので遠ざける
再生紙の俺の鶴など飛ぶもんか
さみの笑顔もたらい回しされるよ
夢中でくちづけして夢中で帰る

先月号の
お気に入り

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

熱帯夜ビール酵母が眠らない
プレミアム商品券つき島流し
スケボーが突っ込んで行く摩天楼
地曳網ひっかかってくる不眠症
炎暑の日スズメバチ♂がのびている

先月号の
お気に入り

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

里山の過疎を骨まで古狸
タンポポも友に数えて淋しくはない
神性を中心に据え娑婆を行く
芍薬に今年も母は宿らない
溝浚え今年も腰はNOと言う

先月号の
お気に入り

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

一句になりたがる杭がしゃしゃり出る
見向きもしないホイップしたくせに
不道徳なくちびるの咲きそな湿度
次の平和までの茨道ならば
何をつなげ続けたら手をつなげるの

先月号の
お気に入り

貸してからこうかいしてるうさぎ齢 鳴海賢治
公開、後悔、航海…どれなのか？、で「うさぎ齢」の捉
え方が変わっちゃうかも…面白い！

熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

空っぽにしても沈んでいくんだね
木陰から木陰私のあやし方
五年後をテトラポットは応えない
後押ししてくれたのはタグボート
終点をここにしたらのか流木よ

先月号の
お気に入り

おはよう朝陽白いご飯を…召しあがれ 安藤なみ
昨今のお米事情を…に語らせて巧み。

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

境界を揺らして友がやってくる
割れた方の風船になりたかったな
ほどほどにしろと月まで欠けてくる
七月へ毒ある役が来てしまう
帰ろうか私の部屋が待っている

先月号の
お気に入り

夜中に取り替える日記帳の水 米山明日歌
何を読んでも、揺さぶられます。感謝！

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

肩パット赤白黄色ありがとう
松剪定小雨の後の虹の橋
平和という引出し探す路の穴
暑ければあついで今日の電池切れ
デコボコの畑一面ムカゴの芽

先月号の
お気に入り

嵯峨山登【さがやま・佐賀県大和町】

名誉返上汚名挽回をと迫る
死にたくはないが死なねばならず者
白線の内側からの見ざるの手
見ざるの手買った見えざる掌の嗤い
真実を語るだあれも信じない

先月号の
お気に入り

ベッドから降りると月の海だった むさし
あえて寝台列車と申し上げます。以下省略。失礼しました。

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

なあ月よ おまえの海はコピーだな
ドラが鳴る修司はいつか帰るだろう
元気かなあなたの嘘を覗いてる
満月にかぶせる帽子見つけたよ
十年一日朝飯前の愚痴話

先月号の
お気に入り

ほとぼり冷めるまで握ってるナイフ 米山明日歌
だからいつも握ってるのですね ナイフを

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

田酒一合スルメ塩辛ラタトウイユ
追いかけて月のうさぎのひざまくら
前の日に買ったお揃いの歯ブラシ
黒髪が好きな男の子集まれ！
負けました踵が少し丸いので

先月号の
お気に入り

満天に浮かべた船で飛鳥まで 葉閑女
今、私たちが見ている空を、聖徳太子も見たのだろうか。

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

源流を探すアナタと会うために
貸金庫秘密の石がひとつある
もう少しこつちを向いてソーダ水
ジョークには冗句で返し恙ない
喝采の拍手魔王になつていく

先月号の
お気に入り

もう少し光るとたぶん嫌われる 斎藤泰子
調子に乗ってはいけません。分相応に振る舞え」ということ
となんです。心に響きます。

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

舌のび引き摺り込まれ溶鉢炉
幸せのゼリー固まるのが苦手
幸せの規定打席に足りません
日記の中に逢いにいく昔のアナタ
突然にカラカラ鳴った糸車

先月号の
お気に入り

筆順通りだったくちづけまでは ききさき彼句吾
筆順とくちづけに右ストレートをくわされました。

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

さわやかなカンヌの風に溶けるヨガ
だとしてもカンヌの街は美女ばかり
セレブ横目に孫は浜辺を駆け回る
マルゲリータピザは安心オーダーす
日本には銭湯があり生き返る

先月号の
お気に入り

わたしにはひとりじかんがながすぎる 須藤しんのすけ
一人暮らし、好きな時に寝て、食べる。贅沢な暮らし。
でもね…

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

観覧車わたしにあつた物語
暗い夜星のかわりのこんぺいとう
断りのメール何度も打ち直す
Y字路でうふふはどっち飛ぶ綿毛
ゆつくりを探して走るきのう今日

先月号の
お気に入り

もう少し光るとたぶん嫌われる 斎藤泰子
そうだよねえ、うんわかる。

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

領分をわきま延びていく裂け目
枝折れて背中が急に丸くなる
よそ者を拒んでしまう蒙古斑
塩振ってイワシを焼いて男逝く
ふたりして崩れる雨に打たれてる

先月号の
お気に入り

正直に中途半端に次へ行く 戒踊兵
私は正直で、そして中途半端でも進んでいます。

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

たねあかしすればなみだは嘘ついた
どんぐりコロコロ2.3が6ですみません
むかしばなしはおわりです こけました
公園のベンチふたまたかけていた
小鳥二羽鳴かず飛ばずのまま老いる

先月号のお気に入り
蓮根の穴から垣間見る世相
葉 閑女
おもしろいことです。

舟木小柳【ふなきこりゅう・青森県青森市】

ミサイルを撃ち合うニューズ総毛立つ
ランドセルパリジェンヌらの御用達
鼻メガネわざとじゃないと老いて知る
原発の無事故無違反夢の夢
政治家に点滴したい石清水

先月号のお気に入り
三無主義米が無くてもデモもせず 亥の
全くそのとおり。日本人の矜持はいつたい何処へ……？

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

虐待じゃないのか週末の雨は
老いるってあつという間の一夜干し
どこにでも眠れるのです 逝く時も
清く正しく老兵になるつもり
アンパンマンになれる人混みが好き

先月号のお気に入り

峯島 妙【みねしまたえ・大阪府大阪市】

織姫をなぞってみれば黒木華
ずる休み波は静かでピーカンで
齧らせてあげるわペデュキュアのスイカ
雷が怖いとキミの下手な嘘
不揃いの夏野菜からラタトゥユ

先月号のお気に入り
マッチングアプリって洗えば食えますか むさし
洗うとか言っていないで近寄らないでくださいね。

まきこ【まきこ・青森県青森市】

いちにさん上りつめよう君の空
嫉妬心ちよいと天干ししておこう
走りますハートを握りしめるまで
心地よい汗が出るまで食う笑い
あなたの手乗って宇宙に行きましょか

先月号のお気に入り
落ち込んだ今日をズドンと撃っておく 辻井洋子
私もそうしよう(笑)

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

夏ごもり始めましたのご用心
言えるほど重病人じゃないけれど
何をどう動かせばいい電池切れ
音だけは人待ち顔で鍵の束
本物の風に逢いたい連れてって

先月号のお気に入り
母さんはゴールの近い眠り姫 一帆
はい、我が母親もそのようで……

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

怒らせてしまう半チャン半ラーメン
姉さんの魔球が消えたゲリラ雨
消去法でえらぶ踵の届け先
境界を無視するやつもいて 蛹
きゆうりから見て理不尽な論理でも

先月号のお気に入り
多重括弧で覆うキリリと帯締めて きささぎ彼句吾
Tシャツ・ジーンズばかり着ているから失言してしまう
のかなあ。

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

動きも思考もスローになって日が暮れる
秒針がゆっくり進む午前2時
眠くなれアブラカダブラチンパイ
細切れの夢を繋いで朝が来る
今夜また夢の続きを見るのかな

先月号のお気に入り
胃薬の替わりに春を買いに行く 辻井洋子
胃の不調が治るのなら私もその春を買いたいです。どこ
で売っていますか？



課題と選者 (2句詠・共選)

題：『**庫**』

選者 **兵頭 全郎** (大阪府)

11/30 〆切

むさし (青森県)

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

▼ウェブサイトからの応募

投句フォームを開く

作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。

▼メールで直接送信

メールで投句する

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、送信してください。

投句料 (※おかじょうき川柳社会員は無料です。)

1,000円

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

先月号のお気に入り
明日にはちゃんと取っ手がついていた 米山明日歌
はい、取っ手にしがみついて毎日「明日」に来てますよー
(注)

柳本恵子「やなぎもとけいこ・奈良県奈良市」

モノクロの雨降りしきる万博の屋根
くすぐつてやると朝顔咲きだすの
白い朝記念切手は逆さに貼る
新潟のビール父の日の冷たきまま届く
蛍舞う旅先で買う風邪薬

先月号のお気に入り
野の花の誰か植えたか植えなかつたか 吉田州花
野の花も山野草もすきです。月見草が少なくなつたと思
うのは、私だけかな。

先月号のお気に入り
幻灯が次々流れ 夜もすがら 吉見恵子
今はじき人々との思い出と過すお盆の夜。

むさし「むさし・青森県蓬田村」

ぬかるみも氷の道も這つてきた
安眠するには少しお金が足りないぞ
寝る時にかぶる仮面を買いに行く
私の中の迷路をやつて来たあなた
晴れた日のバケツの中の無人島

守田啓子「もりたけいこ・青森県三沢市」

相互関税海が私にかけてくる
ニタニタと胃もたれしそうな風の海
生返事が続く助走が続く 雨季
遣唐使の血筋所以の波しづき
灯台になるまで鳥になるまで

葉閑女「ようかんによ・青森県青森市」

無防備のまま八月の風を聴く
風は白南風 平和主義者のコウモリ君
コウモリの取りつく島を探そうか
百箇日そして新盆百七歳
夜が明けたモーツアルトになる時間

川柳ステーション 2025

2025年7月5日(土) 13:00~

リッチモンドホテル5Fブリリアンテラス

おかしょうき川柳社「川柳ステーション2025」

▼出席者 (35名：順不同)

浪越靖政・米山明日歌・妹尾凜・芝岡かんえもん・戎 踊兵・夏草ふぶき・くんじ
笹田かなえ・酒井かがり・宮井いずみ・葉 閑女・宮古中子・滋野さち・笹田隆志・
小野五郎・田中 薫・渡邊こあき・野沢省悟・兵頭全郎・成田我楽・むさし

ろう・福士かれん・峯島妙・高木まあこ・一帆・宮井元伸・きさらぎ彼句吾・一戸不実・
三浦蒼鬼・須藤しんのすけ・藤田めぐみ・菊池 京・熊谷冬鼓・守田啓子・坂本清乃・

▼ご芳志拝受

弘前川柳社・川柳ゼミ青い実の会・黒石川柳社・金木川柳の会・笹田かなえ

事前投句『声』

青森県外ヶ浜町

Sin選

【佳作】

- ファルセット経年劣化して渚 菊池 京
- 見張り塔まで裏声をひきずって 酒井かがり
- 例えれば楽譜の読めぬコーラス部 熊谷冬鼓
- つつつと剥がれていつてしまったの 守田啓子
- もしもしてわかってしまうさようなら 峯島 妙
- 叱るのはソプラノでつて言つたよね 須藤しんのすけ
- ほんものの海月の声で午前零時 妹尾 凜
- あうたびに君のマイクをオンにする 芝岡かんえもん
- 空耳で聴いてるモアイ像の声 野沢省悟
- さりげなく子どもの声で般若心経 笹田隆志
- 隠し事ばかりきれいな声です 須藤しんのすけ

チャランポランと水母の声のする方へ

喧騒を抜けた少女の眼に影がない

つゆだくの声で献血しませんか、

あの声はモンシロチョウじゃありません

母の声ギョツと握つたままここに

棺には産声入れてくださいな

大声で言うから海に嫌われる

声がさあ心の中で動くのよ

「(((波)))」そろそろ家へ帰ろうか」

【秀逸】

筆順通りに愛と発音できるかい

呻き声出すミサイルもあるはずだ

一匹を殺した後にできた声

【特選】

一呼吸ずれた本当ははずれた

笹田かなえ

富士かれん

くんじろう

宮井元伸

田中 薫

坂本清乃

宮井いずみ

高木まあこ

富士かれん

きさらぎ彼句吾

野沢省悟

米山明日歌

峯島 妙

事前投句『声』

青森県蓬田村

むさし選

【佳作】

- 声だけを聞けば優しい人でした 夏草ふぶき
- サイコーデス！ばかり叫んでいるオウム 浪越靖政
- 郭公の鳴き声つぼくサヨーナラ 笹田かなえ
- 嘘つきねまたねと言つたまま花火 藤田めぐみ
- 叱るのはソプラノでつて言つたよね 須藤しんのすけ
- 終活はしないと決めたエイエイオー 熊谷冬鼓
- そうだねの一声ほしいだけなのに 渡邊こあき
- 猫撫で声を渦巻管に飼ひ慣らす 一戸不実
- 亡き人の夕空へデューダバダバダ 宮井いずみ
- 母の声ギョツと握つたままここに 田中 薫
- つゆだくの声で献血しませんか、 くんじろう

男ひとりアレクサおはようアレクサおやすみ

「(((波)))」そろそろ家へ帰ろうか」

慟哭は裏の小川に捨てなさい

爆撃の合図が神の声だった

つつつと剥がれていつてしまったの

棺には産声入れてくださいな

もしもしてわかってしまうさようなら

あの声はモンシロチョウじゃありません

サバンナを切り裂く正調おはら節

【秀逸】

筆順通りに愛と発音できるかい

「上へ参ります」振り向けば野分

空耳で聴いてるモアイ像の声

【特選】

呻き声出すミサイルもあるはずだ

浪越靖政

富士かれん

酒井かがり

滋野さち

守田啓子

坂本清乃

峯島 妙

宮井元伸

宮井元伸

きさらぎ彼句吾

藤田めぐみ

野沢省悟

野沢省悟

宿題『自由詠』

大阪府大阪市 くんじろう選

【佳作】

夕暮れのウユニ塩湖にわたしを映す
補正下着が半拍ズレる南無阿弥陀
何となく眠たくなって海を呑む
頭剃る不埒は全部剃り落とす
楽観と悲観マツカランに混ぜる
反抗期あけのテロリストが遅刻
ぶれぶれの長方形に揺れてみる
ピンボール誰に向かって投げようか
朝焼けはピンク機能不全です
渾身の訣別間引き菜のシャキッ
創世記開けてはならぬ袋とじ

須藤しんのすけ
きさらぎ彼句吾
笹田隆志
戎 踊兵
峯島 妙
藤田めぐみ
宮古中子
葉 閑女
宮井元伸
成田我楽
菊池 京

スリーサイズのビミョーナワタシタチのタチ
朝を折り畳みシャーマンの出来上がり
月曜は山椒魚になる仮病
ガザの子の涙にタグを付けてくれ
魂を売る×寄りの△に
ミッシヨン系幼稚園卒ノーゼン花
爆撃の夜に激しく濡れている
手拭いを下げた風なら父でしょう
コンプラ違反だって穴はつゆだく

きさらぎ彼句吾
福士かれん
一戸不実
成田我楽
菊池 京
熊谷冬鼓
小野五郎
守田啓子
熊谷冬鼓

【秀逸】

密やかな会話の中の五年生
そんなに優しくするなよ凶器だぞ
病葉が墜ちたきりんの舌だった

宮井元伸
三浦蒼鬼
宮井いずみ

【特選】
ホレーー虫かごがずんと歩いているぞ

福士かれん

宿題『自由詠』

東京都中央区 藤田めぐみ選

【佳作】

ぎょうぎにも私にも羽生える夏
吊された閻魔大王眼が動く
ギクシヤクをビートで刻む深海魚
耳を澄ませばメンソレータムな月夜
告白をしないのに羽化してしまう
ザク口咲くあたしそんなに邪魔ですか
フラスコの底ちくちくが激んでる
尾羽から抜けてくような気がするの
おもちや屋の蛇がおもちの皮を脱ぐ
お揃いのタトゥーTシャツ着て姉妹
じいちゃんが螺旋階段転がってく

守田啓子
笹田隆志
一 帆
笹田かなえ
野沢省悟
守田啓子
成田我楽
滋野さち
くんじろう
須藤しんのすけ
浪越靖政

象をかく群れを離れてゆくひかり
羽音止むもう戻れない鍵の束
とうとうと苺ミルクは眠そうに
信号を操っている烏瓜
たいやきに耳朶を嘯ませている月夜
蓋すこしずらして雨を聴いている
雲だらしなく巾の風が吹く
家出した母の人形作り足す
金魚鉢を覗く納税証明書

宮井いずみ
菊池 京
妹尾 凜
宮古中子
野沢省悟
熊谷冬鼓
くんじろう
一戸不実
笹田隆志

【秀逸】
傘たたむ金魚の和解見届けて
踊らせておこうよ生き餌なんだから
通販で買う折りたたみ式荒野

菊池 京
戎 踊兵
一戸不実

【特選】
錆び釘鳴いた振花またいた

宮井いずみ

宿題『自由詠』

神奈川県横浜市 芝岡かんえもん選

【佳作】

哲学の道にうっかり捨てた母	笹田隆志
涙もろい消臭剤になりました	野沢省悟
中途半端な日は標的になりなさい	三浦蒼鬼
述語から先に酔いつぶれた月夜	きさらぎ彼句吾
右膝の代わりにメロン抱いている	葉 閑女
さよならの送信先で泣く桜	夏草ふぶき
ひまわりを斜めに切れば死の匂い	妹尾 凜
肯定のひとつに栗の花ぶらり	守田啓子
しつとりと高野豆腐は義理の母	くんじろう
陽炎へ道草できる子は独り	戎 踊兵
風の思想□が△そして○	高木まあこ



▲しんのすけさん、Sin 選の披講代読、ありがとうございました(汗)

急かせると何もできなくなる両手
満ち足りた時間が陰も飲み込んで
旨いのはひと山越えた私です
フラスコに銀河をひとつ恋少々
鬼ごっこつかずはなれず愛されず
友が逝く月がうねって押し寄せる
桃を吸うように仔猫の顔をする
潰されはしないヌルツと生きている
帯解かれ死のうと言われ咲く牡丹

渡邊こあき
田中 薫
米山明日歌
一戸不実
きさらぎ彼句吾
夏草ふぶき
須藤しんのすけ

【秀逸】

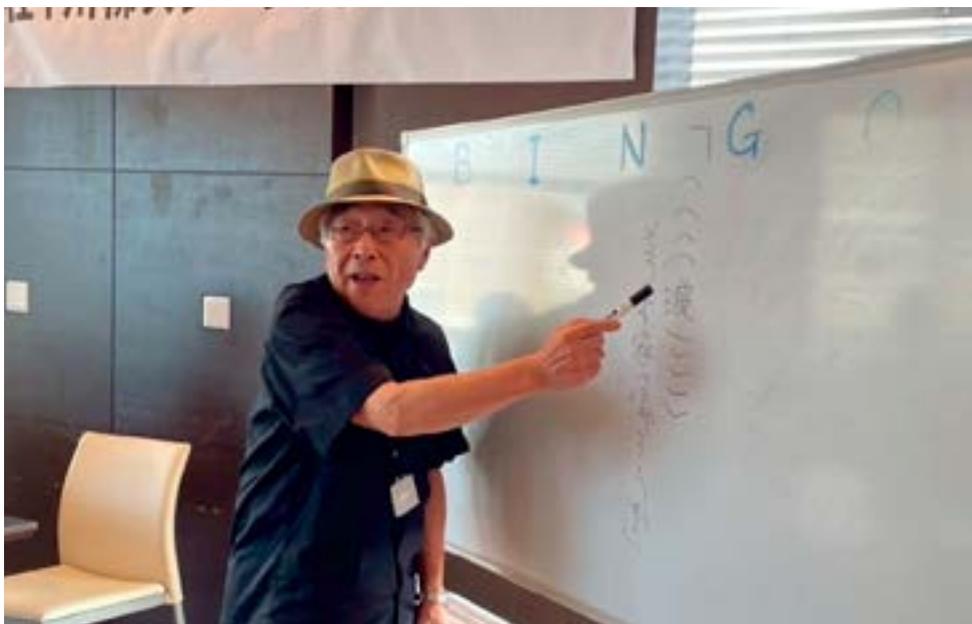
裏返すたびに明日はズルくなる
相性が良い人を数えてる小銭
ひと晩中雨を聴いてた段ボール

米山明日歌
三浦蒼鬼
熊谷冬鼓

【特選】

ダムに飽きた人を好きになる

富士かれん



▲かれんさんの披講しづらい句の表記を説明するむさしさん(笑)



いては以上にしたと思います。事前投句「声」で特選になった峯島妙さんと野沢省悟さんでした。ありがとうございました。

(拍手)

むさし それでは「自由詠」くんじろう選に参りましょう。選者のくんじろうさんと特選に選ばれた富士かれんさんです。かれんさんはですね、おばあちゃんが富士富栄さんと言っておかじょうき川柳社の会員だった方で、私が住んでいる蓬田村の方ですよ。すごいでしょ。そんなことを言っただけじゃないと書いていないの、言いました。(笑) それでは作品の話しに入っていきます。選者のくんじろうさんに特選句を2回読み上げていただきます。

くんじろう 「ホレーー虫かごがずんずんと歩いてるぞ」(二唱)「ーー」は伸ばす記号が2つつ分)

瞬出せない声っていうものがあるのかなと思って作ったものです。啓子さんがおっしゃったことも当たつてると思いますし、ありがたいと思います。

むさし ありがとうございます。続きましてむさし選「呻き声出すミサイルもあるはずだ」(二唱)私の感想は「呻き声」を持つてくるのは簡単そうに見えてそう簡単ではないと思っと思っています。次にその「呻き声」を誰に出させるか考えたのだと思いますが、ミサイルを持つてきたところが面白いと思えました。何気ないようですが、言葉がそれなりに屈折して読ませる作品になっていると思います。啓子さんはこの作品の印象はどうですか？

啓子 こんな残虐な事したくないんだというミサイルの声が聞えました。うまいなあと思いました。

むさし ありがとうございます。では、選者のくんじろうさんからお話をお聞きます。どうでしたか、この作品。

くんじろう これね、一読したときにこの線ね、「ホレ」の下の長い線。ここまで長い線いるか？でもこれだけでは頼りないしこれ1文字？2文字？おそらく2文字ぐらい分も長い線を引いてあるんですけどこういう出し方をしていいのか。果たして戦術としては成り立っているのか。しかしこういうのは面白いな。もう一つ言えばね、虫かごが歩いてるんですよ。人じゃなくて。こう読めば、乾いているんですよ。情って言うかそういうものがあまり絡んでこない。一つだけ言えばね、例えば五七五を潰しにかかるのであれば「虫かごが」の「が」と「ずんずん」との「と」は少しまだ推敲ができそうな気がします。たとえば「ずんずん歩いてい

むさし 作者の野沢省悟さん、どんなイメージで書かれたんですか？

省悟 ミサイルは結局人を殺すんですけども、殺さないミサイルもあるんだらうという発想が一つと、それからミサイル自体は爆発したわけですから、もしかすると爆発しないかもしれないというこの二つの発想ですね。ここを考えている時に「呻き声」という言葉が浮かんできてですね、この作品ができたわけです。むさしさんはこのような素晴らしい句を特選に選ぶという事はかなり体調がいいんだと思います。(会場から笑い声)

むさし 東京にいる孫から家内が風邪をもらっつけて私が今度風邪を移されてこじれて今こうなっています。私はミサイルの句を多く作ってるんですけど私だったらミサイルの句をとると思っただけに出したとか。時間がないのでここで「声」につ





るぞ」のほうが強烈かもしれないですね。もう「ホレー」に惚れてしまいました。(会場から笑い声)

むさし はい、それでは作者の福士かれんさんにもお話をお聞きます。まず今回宿題が全部「自由詠」ということで他の選者ではなく、くんじろう選にこの作品を提出したのは何か理由みたいなものありますか？

かれん はい、あります。くんじろうさんだからというのもありまして、取ってくれるだろうなっていう、ちよつと信頼があつて、というか、結構前衛的な句も関西の方ではね、なんか結構くんじろうさんバンバン取られてる印象はあったので、結構信頼のもと出すことができました。

むさし 作品について一言お願いします。

かれん 自分をどういうふうに把握

するかつていうのを結構重要視したところがあつて自分の中、主体から出てくるつていうよりも、主体から1歩こう俯瞰した目線で虫かごを置いてそういう感じで作りました。そこで全て入ったというよりはそこまです意識していなかったですね。そうですね、これつて書くことで一歩自分から外側にいる目線を意識させるために。

むさし 私、この最初の「ホレー」がですね、津軽弁だと思つたんですよ。よく津軽の人がね、「ホレー」つて言うんですよ。それで、もしかしたら、それだつたらと思つたんですけど、かれんさん、これは津軽弁つてことないですか。

かれん 津軽弁で書いたつていうよりは、そこまで意識はしてなかったですね、

むさし 「ホレー」は津軽弁じゃな

むさし いずみさん青森どうですか？

いずみ 青森いいですね。大阪と5度ぐらい温度違うからすごいです。はい、

むさし それでは、作品の話に入つていきたいと思つています。選者の藤田めぐみさんに2回読み上げてもらいます。

めぐみ 「錆び釘鳴いた振花またいた」(二唱)

むさし では藤田めぐみさんからお話を聞きたいと思つています。

めぐみ いやもう、ぱつと見た時にもう直線でした。こうつていう風にすがる思つていました。はい。ずつとこう錆びて、釘がね、もう錆びちゃつて、もう抜くに抜けないことになつて硬くなつちやつて釘が、こう鳴い

くて、カレンさん独特の「ホレー」ですね。

かれん そうですね。「ホレー」つてこう置くことで1歩自分から外側にいる目線を意識させるために置いた「ホレー」でした。

むさし はい、時間が来たのでこの辺で終わりたいと思つています。くんじろうさん、福士かれんさんありがとうございます。ありがとうございました。

(拍手)

むさし それでは「自由詠」藤田めぐみ選に参りましょう。選者のめぐみさんと特選に選ばれた宮井いずみさんです。拍手をお願いします。めぐみさん、青森はどうですか？

めぐみ いや、私、青森の人なので、もう天国ですね。うん、涼しいし、空気いいし、ご飯美味しい。はい。

たと。で、それはもう耗弱してて、もうにっちもさつちもいなくなつて、もうどうせこのまま、あの、周りの、なんか刺さつて居る周りと一緒に朽ちていくんだらうつて思つてたと思ふんです。釘もね。でも、やはりこう、鳴かずにいられない何かきつかけがあつて、人生つてなんかさういうことつてあるからね。そういう風に、こう自分からこう、この釘がね、錆びちゃつたと思つてた釘が、鳴く力があつたつていう、その自分の鳴き声をこう聞いたつていうところが、で、それが、で、もう鳴くぞつていう風に決めたところに、こう、野草のネジバナですよ、初夏から夏に、こう、ちつちやい、本当にこう、可憐な花で、ねじれてる感じ、それが、もう、風に揺れたのかもしれないんですけど、それが、瞬くつていう表現が、とても素敵で、その、自分の、泣く、泣いた時と、その、あの、ねじ、花が、こう、またたいて、こう、応援してくれるつていうかね、そのね、花の、

こう揺れた、その、光ったような感じの、咲いたっていう、その、励ましているか、あとは、釘と花の対比とか、うーん、こういう仕立てって、元々、私、好みなんですけど、自分がこう、生まれ変わるってね、向き直すっていうその瞬間の美しさにとても惹かれました。はい、

むさし ありがとうございます。いずみさんにお聞きします。まず、この選者に出したい。これってなんかありますか。

いずみ はい。あの3人の選者のうち、くんじろうさんはいつも指導いただいているんですね。それで、花の句くんじろうさん、大っ嫌いなんですよね。大嫌いついていうとちよつと語弊があるけれど、なに言うてんねん。みたいによく言われるんですけど、やっぱり私、花を書きたい人なんです。やっぱり男性の選者よりも女性の選者の方が、そういう意味では共感してい

ていうのももちろん感じました。なんかぎゅぎゅつとしちゃった。

いずみ ありがとうございます。

啓子 この作品の「鳴く」は鳥などが声を出すときに使う「鳴く」で人が感情的に「泣く」時に使う「泣く」ではないんですね。「動物が声を出す時の鳴く」だから錆び釘だけど声を出したと言うところに明るさを感じるし。屈折のイメージの振花だけど。「またたいた」で明るさを感じるし。イメージの違うものの取り合わせで難しい句だなあと感じました。

めぐみ 仕立てはだいぶ難しいとは思った。うん。でもいずみさんはするつと作つたと思います。

いずみ うん、結構、吟行句みたいなの

むさし 作るのにはかなり苦勞されてるんですけど、読むとか選ぶのは



とても。

めぐみ うん、なんか希望もあるし、きゅんとなるし、生命力も感じるし。錆び釘が急に命をね、こう、また景色が、多くの命が、あの景色がばーつと変わって、キラキラ、キラキラ。みたいな。すごい。もう一瞬で惹かれました。

むさし 選者の藤田めぐみさんと作者の宮井いずみさんでした。はい、ありがとうございます。

(拍手)

むさし 続いては。自由詠選者の芝岡かんえもんさんと特選になった福士かれんさんです。拍手をお願いします。それでは、作品の話に入っていきます。それでは、作品の話に入っていきます。それでは、作品の話に入っていきます。選者のかんえもんさんにこの特選の句を2回読み上げていただきます。

ただけるかなと思って出しました。

むさし この作品についてどういうイメージでしたか

いずみ はい。私、今年70歳になつたんですけれど、2年ぐらい前からすごい自分の老化っていうのを感じて、まじいなっていう気持ちがあるんです。で、さっきもちよつと席の近くの人と喋つてたんですけど、もう恋なんてちよつと言えないよね、みたいな。あ、じゃあ、でも錆び釘いいじゃん、錆び釘のこと書きたいなって思つてたんです。で、歩いてたら、振花が咲いてた。で、この句ができました。どういう感覚なんか、ちよつとわかりません。

めぐみ でも、私、すごいわかりますよ。「振花またたいた」えつと思つて、なんかキューンつてなつちやつて。私さつき喋つた時は言わなかつたんですけど、この恋の始まる瞬間

かんえもん 「ダムに飽きた人を好きになる」(二唱)

むさし ありがとうございます。それでは、かんえもんさんにお聞きします。どうでした。この作品。

かんえもん 「こんなに疲れたことがない」ぐらい疲れ疲れた。どうしてか。いや、私、自分の傾向がよくわかりました。シンプルなのが好きなんですね。で、今回も最初にこれいなと思つて特選句にしようと思つたんですが、ここはおかじょうきな、おかしょうきはシンプルな句を特選にしちゃいけないんじゃないかと思ひまして、葛藤がありました。でも惹かれました。

むさし それ、おかしょうきのイメージなんですか？

かんえもん はい。違うんですか。そう、それは失礼いたしました。勝

手な思い込みでございます。で、このかれんさんのこの句って、だからシンプルな句ですよ。でも、もう1つの句って全然シンプルじゃないですよ。くんじろうさんの特選の句ね。なんか五七五に何にもなっていない、だからくんじろうさん用に書いたとおっしゃってましたけど、両方書けるっていうことで。だからこれ、そしたらこの人は天才じゃないかとおちよつと思いました。そう、ちよつと言い過ぎました。

むさし テンサイってどう書きますか？天災とか？

かんえもん いや、そうかもしれないけど、私にとってはちよつと最大だった。

むさし 次に、作者のかれんさんからお話を聞きしましょう。まず、今回、宿題が全部自由詠という事で他の選者ではなくかんえもんさんに

啓子 最初かんえもんさんがくんじろう選特選のかれんさんの作品が全然五七五になってないって言ってたんですけど、こちらの作品も五七五でないんですけど、それは気にはならなかったのでしょうか。

かれん 定型に関して、今回6句出しだったじゃないですか。で、お1人につき2句だったの、どっちか1句は挑戦した句を出したいと思って、あ、定型のと定型じゃない句を挑戦して出そうっていうのはあって、偶然こういう感じになりました。

啓子 定型じゃないこの2句が特選という結果になったという事ですね。

かれん そうですね。偶然というか。

かんえもん 今気づきました。確かに五七五じゃないね。なんで選んじやつたんだろう。そうだね。本当になっ

出したには何か理由みたいなものがありますか。かんえもんさんを知ってましたか？

かれん もちろん存じてました。

かんえもん 俺に合せたの？

かれん ふふふ。バランスを考えたお三方に分けた感じでしたね。

むさし どうしてこういう句になったのか作品について聞かせてください。

かれん やっぱり人を好きになるっていう、まずこれを、自分の中で思っている恋愛とかだけではなく、いろんな人とやっぱりこう触れ合いながら今まで過ごしてきたんですけど、別れて、出会ってっていう繰り返しのことを書きたいなっていうのがありまして。

むさし で、どうしてここに「ダム」が出てくるんですか？

かんえもん これ彼氏のこと？

かれん いや、恋愛っていうよりも、やっぱり人の出会いとか別れとか、そういうことを書きたいなってのはありましたね。で、ダムは静かなくて、誰もいなくて、水が溜まって、ちよつと現実からまた離れたところにあるものなんです。私の把握している中では、で、なんかそういうところをここに置くことで、人間の出会いとか別れとかと、またちよつとその、反発するっていうか、そういう効果があるかなと思っただけに置きました。

むさし 私の知ってる限り、この頭にね、下がこうで上にダムを持つてくるといのはのは多分、守田啓子さんしかいない。(会場から笑い声)啓子さん、どうですか。

てないですね。えー。いや、びつくりです。あのね、最初から考えてないんですよ。川柳を始めた時、よく言われました。ちゃんと五七五で書いてよって。五七五をあんまり意識したことがない。でも本当はしなくちゃいけないですよ。そう。うん、よく言われました。

むさし かれんさんは何でも作るわけ。定型も定型でないのも。

かれん 本当は定型で作りたい派なんです。私は。五七五で中7は動かさず、上と下は結構自由に書くぐらいはするんですけど、今回ちよつと。だから定型の一句と定型じゃない1句を冒険して出してみました。ありがたいことに2句特選をいただきました。

むさし もう今日はかれんデーになっちゃったか。本当にありがとうございました。時間が押ししております





川柳ステーション2025 二次会 酩酊吟

■題「2,980円」 兵頭全郎選

【入選】

一艘さんの眉毛は2980円でした
岬に立ってる2980円分の青
海一枚脱げば2980円のおっぱい
2980円の涙ぐんでいる素足
コンビニでほう 色気をほどほどに
向日葵ホキリ白昼の休憩タイム
肉球はピンク熊のシヨップینگ
兄さんの義足と姉さんの義
そう言えばサラダ記念日は明日です
ヤケ酒にヤケドしている夏至の夜
(白句)

たたき売る訳にいかない舟一艘

すので、この辺でかんえもん選の特選については終わりたいと思います。芝岡かんえもんさんと福士かれんさんでした。ありがとうございました。

(拍手)

むさし ここ川柳ステーション2025の会場から公開録音という形でお送りしてきました。これが何回に分けて公開するものか、もしかして何も公開されないのか、その可能性もありますけれども、とりあえず今回の公開録音はこれで終了となります。いかがでしたか。啓子さん。

啓子 「ポッドキャスト」というワードはラジオとかでは時々聞いておりましたが、ポッドキャストってなんだろうからのスタートでした。そして頼りにしていたSinさんが不在という非常事態での本番を迎えることになりました。でも川柳をいつもの形とは違う形で、ここにお集まり

いただいた皆様と楽しめた感じがいっぱいです。楽しかったです。

むさし ということで、おかげようき川柳社ポッドキャストおかげよう以上となります。次回はあるのかどうかはわかりませんが、また次回の放送をお楽しみに。ありがとうございました。バイバイ。

*

ということで、当日のトークをキストでお楽しみいただきました。

時間的に余裕があれば、もっと突っ込んだ話になったかと思いますが、イベントにトラブルはつきものですね(汗)

ポッドキャストは、ゲストのコメントの部分を抜粋、編集して別撮りのトークと共に公開したいと思っていますが、どうなることやらず(笑) 気を長くしてお待ちください(笑)

■題「フットワーク」 宮井元伸選

【入選】

プールぶくぶく ぞうりじゃ走れない
あの人の彼と寄道しています
さよならのフットワークが悪すぎる
左手がかりつけても歩けない
フットワークのいいトマトと海へ
スロースローキックで転ける
一足とびで十月十日経つ
昨日も今日も月の裏まで行って来た
キラキラは周回遅れでも無敵
影を追う誰の許可などいるものか
(白句)

カーソルがこまった時の〇〇〇とび

(→判読不能でした(笑))

兵頭全郎

笹田かなえ
守田啓子
守田啓子
野沢省悟
菊池 京
宮井いずみ
くんじろう
笹田かなえ
笹田かなえ

宮井いずみ

須藤しのすけ

米山明日歌

戎 踊兵

守田啓子

浪越靖政

きさらぎ彼句吾

むさし

藤田めぐみ

菊池 京

宮井元伸



十和田たてがみ川柳会六月句会

○日時 令和7年6月21日(土) 午前10時から
 ○会場 十和田労働福祉会館
 ○参加者 木村奈生美・佐藤まさあき・斉藤蛙井・
 瀧尻善英・福田芳記・村上昌子・高田幸柳
 ○投句者 白山修治・城後朱美

■席題 『いっぱい』 木村奈生美 選

【平抜き】 いっぱいの酒と決別天命だ

精いっぱい握力計を握ってる

想い出をいっぱい詰めて帰省する

腹一杯食べさせたいながらザの子に

精いっぱい背伸びしながら風を読む

退院へ腹一杯の大气吸う

【秀逸】

父の背に返しきれない恩がある

齊藤 蛙井

福田 芳記

高田 幸柳

佐藤まさあき

高田 幸柳

佐藤まさあき

瀧尻 善英

いっぱいと聞けば欲ばり耳を立て

【特選】

サラリーマンいっぱいやって憂き晴らす

■席題 『いっぱい』

【平抜き】

いっぱいに貯まる涙へレクイエム

甲子園若さいっぱい球児たち

腹一杯食べさせたいながらザの子に

怒りしか生まぬ世界の核の数

想い出をいっぱい詰めて帰省する

退院へ腹一杯の大气吸う

【秀逸】

大口で五月吸い込む鯉のぼり

部屋の窓いっぱい開けて待つ出会い

【特選】

精いっぱい背伸びしながら読む空気

村上 昌子

福田 芳記

瀧尻 善英 選

齊藤 蛙井

福田 芳記

佐藤まさあき

村上 昌子

高田 幸柳

佐藤まさあき

佐藤まさあき

木村奈生美

高田 幸柳

また来年、お会いしましょう。

おかじょうき川柳社

■宿題 『家』

村上 昌子 選

【平抜き】

留守にした家のさみしい門構え
 経年劣化 持て余してるマイホーム
 茅葺きの囲炉裏と自在 懐かしく
 家のローン完済した夜ビール酌む
 四面楚歌 実家も継がず北の空
 太陽は家庭にひとつあればいい
 旅行から帰った家にある安堵
 独り立ちそつと見守る里の家
 安上がり家呑み増やす物価高

【秀逸】

ときめきも悔いも織りなす家出婚
 わが家にも柱のキズにある歴史

【特選】

病んでみて知った我が家のワンルーム

城後 朱美

瀧尻 善英

白山 修治

佐藤まさあき

斉藤 蛙井

高田 幸柳

高田 幸柳

木村奈生美

福田 芳記

斉藤 蛙井

佐藤まさあき

瀧尻 善英

■宿題 『忙しい』

斉藤 蛙井 選

【平抜き】

「忙しいああ忙しい」ひまな人
 忙しいカミさん結構昼寝する
 暇なので忙しいふりしています
 忙中閑 晩酌ばかりは欠かしません
 忙しいと言えど何とか許される
 職引いた妻が五つの習い事
 忙しさを忘れて癒す仕舞い風呂
 農繁期猫の手代わるトラクター
 忙しい時期が満開だと思う

【秀逸】

家事仕事趣味の多忙に夢が有る
 お出かけは通院だけで忙しい

【特選】

忙しい妻がだんだん若くなる

福田 芳記

佐藤まさあき

高田 幸柳

佐藤まさあき

城後 朱美

城後 朱美

木村奈生美

福田 芳記

木村奈生美

木村奈生美

瀧尻 善英

城後 朱美

■宿題 『くまごま』

互選

- ①熟慮していよいよ動く時が来た 白山 修治
- ①明日句会頭 猛暑のせいにする 村上 昌子
- ①いよいよ老化のせいと医師の指示 高田 幸柳
- ①いよいよ終末時計の針の音 佐藤まさあき
- ②まだ先だ いよいよ明日だ 当日だ 福田 芳記
- ③差し迫る戦に捻子を締め直す 木村奈生美
- ⑤人生の「と金」 いよいよ面白い 瀧尻 善英

◆十和田たてがみ川柳会8月句会案内◆

【時】 8月30日(土) 午前10時から 【所】 十和田労働
 福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『塩分』高田幸柳選/
 『エプロン』木村奈生美選 【互選】(一句詠)『エキスポ』
 当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】『当
 日発表』(二句詠・共選) 選者は、瀧尻善英ほか出席者
 から一名 【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平
 72 高田幸柳宛



20位までの上位入賞者に賞品を贈ります。優秀作品は東奥日報紙上と東奥日報文化財団ホームページに掲載します。※懇親会はありません。【主催】東奥日報社・東奥日報文化財団【後援】青森県・青森県議会・青森県教育委員会

川柳の大会情報をお寄せください。

.....
 2025.08.31 『満天の星』第3回誌上川柳大会

【課題と選者】(各題2句・未発表で参加者オリジナル作品に限る)『歴史』小沢史・西沢葉火共選 / 『おかげさま』宮井いずみ・月波与生共選【投句方法】①葉書・封書で郵送(用紙自由・住所・お名前・電話番号・メールアドレス記入)②メールでの投句も受け付けます(件名に「第3回誌上川柳大会」の記載をお願いします)【投句料】1口1,000円(定額小為替・現金・振込・切手不可)振込先・・・ゆうちょ銀行 記号18470 番号26946011(ナラヒロシ)※1人何口でも応募できます(会員・誌友は1口無料)【締切】2025年8月31日(消印有効)【発表】「満天の星」第7号に掲載(ご投句者全員に柳誌贈呈)【賞】選者ごとの特選賞として青森県産りんご1ケース【投句先】〒038-0211 青森県南津軽郡大鰐町大鰐川辺11-25 月波与生 Mail:tukinamiyojo@gmail.com【問合せ】投句先までお問い合わせください【主催】満天の星 後援(一社)全日本川柳協会

.....
 2025.09.28 第79回 青森県川柳大会

【日時】2025/9/28(日)受付開始午前9時30分 開会午前10時【会場】東奥日報新町ビル3階New'sホール(青森市新町2丁目)【会費】3千円(昼食代含む)高校生以下無料(昼食付き)【特別選】「生きる」(1人2句)田中新一選【宿題:各題1人2句】「むずむず」にじの真美・野沢省悟共選 / 「絵に描いた餅」沢田百合子・千島鉄男共選 / 「ショック」むさし・佐藤ぶんじ共選 / 「手紙」田沢恒坊・高瀬霜石共選【投稿】作品は全て未発表に限りです。応募用紙は7月23日正午から、同文化財団ホームページからダウンロードできます。または、はがき大の紙5枚を使用し、それぞれの用紙の右上に特別選、宿題と朱書きした上で、各題2句ずつ必ず楷書で書いてください。新旧仮名遣いは問いません。いずれか1枚の裏面に郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、生年月日、電話番号を明記(学生の場合は学校名、学年も)。大会会費(郵便小為替)を同封し、郵便番号030-0801青森市新町2の2の11、東奥日報新町ビル2階、東奥日報文化財団「県川柳大会係」宛てにお送りください。問い合わせは同文化財団(電話017-718-5115、平日午前9時~午後5時)へ【締め切り】8月26日(火)当日消印有効。直接持参する場合は東奥日報新町ビルで平日午前9時~午後5時のみ受け付けます。【席題】当日2題を出題(各題1人2句)。選者は2題のうち一方が岩崎真里子、田鎖晴天の2氏、もう一方が三浦蒼鬼、福士慕情の2氏による共同選。【賞】当日の出席者を対象に採点し、総合1位に県知事賞、2位に県議会議長賞、3位に県教育長賞、ほか

■会費拝受【6月受付分】

宮古中子・工藤比呂美（以上青森県）

会員登録はこちらのフォームから申し込みください。

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

終着駅 Sin

◆「川柳ステーション2025」においていただいた皆さん、ありがとうございます。私はどうしても休めない仕事とぶつかってしまい、泣く泣く欠席となってしまいました（泣）私と会うのを楽しみにしていた方（←いないだろ笑）、また来年楽しい企画を用意してお待ちしております（笑）◆さて、そのステーションの企画「おかボキ」は、聞くところによると、音響機器のトラブルがあったようで、なかなか難しかったようだが、生のイベントには緊急事態がつきもの。トラブルのないイベントなんて、ダシの効いていない味噌汁のようなもの。スタッフ含めて全員で、逆にトラブルを楽しむくらいの気持ちで参加してくれればと思う（笑）イギリスの元首相、チャーチルの言葉を借りれば、「成功とは、意欲を失わずに失敗に次ぐ失敗を繰り返すことである。」「川柳ステーション」はどんどんこれからも「失敗」して、日本一キドキする大会にしたい（笑）◆そのステーションで事前投句の選を私もしたわけだが、その披講の打ち合わせでどうしようかと議題に上がったのが、福士かれんさんの句、『「((((波))))」そろそろ家へ帰ろうか』の扱いである。どう披講するのか、という

問題の前に、どう披講していいか、つまりどう音変換すればいいか、または音変換するかしないかで判断が迷う句を、誌面発表ではなく、披講のある大会・句会へ提出することへの意義、意図をどう考えるか問題でもある。1つ目の選択として、音変換できないことを理由に選外にするという選択がある。この選択をする人も多いだろう。2つ目として、選外にはしないが、披講時に読める音だけを言うパターン。今回であれば「波（なみ）」だけ言い、（）の記号の部分はこういう表記ですよと説明するもの。私もこのどちらかを選択しようと思ったが、選んだのは3つ目の選択肢、その表記を選者の感じた言葉に翻訳してしまうというもの。もちろん作品へのリスペクトの観点で言えば余計なことを足さないという考えもあるが、私も若い頃は（こういう作品を出したら選者はどう読むんだろう）という試みをしてきた側である。敢えて今回は「((((波))))」の表記に対し、「波紋広がる」という読みを充ててみた。10人、選者がいれば10人違うと思う。この表記に対し、どういう読みを充てるのが正解か、ハイボールを飲みながら、今度、みなさんと楽しく話し合ってみよう（笑）◆ Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2025.08.02 おかじょうき川柳社本社 8月句会

【日時】8月2日（土）午後2時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】8月1日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『走る』『費』『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『お盆』1句【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2025.08.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句

【締切】8月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】10/1発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2025.08.20 「川柳吟行会ぼ」8月吟行句会

【日時】令和7年8月20日（第3水曜日）吟行後に合評句会【吟行場所】東奥日報新町ビル3階/切り絵画家 久保修「紙のジャポニズム」鑑賞/会期7/19～8/31/入場料1100円【合評句会】14時～青森駅前アウガ5階/作句数3句/参加費100円 ※当日の鑑賞が不都合の方は合評日までに鑑賞、吟行し、合評句会に参加も可。会員以外の方の参加歓迎

□ 2025.09.06 おかじょうき川柳社本社 9月句会

【日時】9月6日（土）午後2時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】9月5日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『拾う』『負』『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『おもちゃ』1句【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

第30回

杉野十佐一賞
作品募集

課題／締切

「相」(2句詠) / 2025.9.30 ✕

選者

なかはら れいこ (岐阜県／「ねじまき句会」所属)

樋口 由紀子 (兵庫県／「晴」編集発行人)

広瀬 ちえみ (宮城県／「What's」編集発行人)

湊 圭伍 (愛媛県／「川柳スパイラル」同人)

芝岡かんえもん (神奈川県／第29回杉野十佐一賞大賞受賞者)

Sin (青森県／おかじょうき川柳社)

投句料 (おかじょうき川柳社会員は無料)

1,000円 (発表誌をもって投句料領収したものとさせていただきます／締切日
まで投句料が入金された場合のみ作品を受け付けます)

振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

応募方法 ※郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

<https://forms.gle/r8sfj2Kj7k6UNpTo9>へアクセスし、作品応募フォームから必要事項
を記入して送信してください。

【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名ま
たは雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、件名に「第30回
杉野十佐一賞」として、下記送信先までメール送信してください。

<送信先アドレス(守田啓子宛): moriko@okajoki.com >



発表

月刊おかじょうき 2026年1月号の誌上において発表。

サイト掲載：2026年1月中旬

賞

上位入賞者に青森県特産品を贈呈。

諸権利について

著作権は作者に帰属しますが、出版権、雑誌掲載権など、作品を自由
に利用できる権利は、おかじょうき川柳社に帰属します。

その他注意事項

※作品は応募者の自作で未発表のものに限ります。※応募された原稿に関するお問い合わせや、審査結果の問い合わせには応じられません。※個人情報については、許可なく他の
目的で使用することはありません。2025年8月1日発行(年12回発行) 第30巻8号通巻377号
●発行人／むさし●編集／Sin●発行／おかじょうき川柳社●表紙題字／金子榮風
青森県東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐千43-13 ●E-Mail: info@okajoki.com